

マース ジャパン リミテッド
**国公私立小学校の低学年を対象とした「犬を通じた体験授業」
「こども笑顔のラインプロジェクト」に協賛**
～ 「ペットのためのより良い世界」の実現の一環とした取り組み ～

マース ジャパン リミテッド（本社：東京都港区、社長：後藤 真一、以下、マース ジャパン）は、全国の国公私立小学校の低学年を対象とした「犬を通じた体験授業」を実施する「こども笑顔のラインプロジェクト」（主催：一般社団法人マナーニ 所在地：東京都港区、代表理事：内田 友賀）の2024年度の活動に協賛します。マース ジャパンは2018年より本プロジェクトに協賛しており、本年度で7年目の協賛となります。



「こども笑顔のラインプロジェクト」は、全国の小学校のカリキュラムの一部として実施する、犬を介した学習プログラムです。いじめ問題や自殺、孤独やストレスなど子どもをとりまく問題に対し、心のケアや学びの場として取り組むことに加え、動物虐待や飼育放棄などのペットを取り巻く環境改善を活動の目的として2014年から行われています。現在は、小学校1年から3年生を対象として、実施を希望する小学校からの要望に応じて実施しています。

授業は介在犬と対面する前に、犬の世界のことを知ることから始まります。犬の表情の写真から犬にも感情があることを感じたり、犬にとって児童の大きさは、児童にとっての大型バスぐらいの巨大なものであることを知り、急に犬の頭をなでる行為がどれだけ怖いものなのかということを経験する大きな人の手の模型を使って体感します。その後、グループに分かれて介在犬と対面し、犬の目や耳、指の数などを観察し、人と犬は何が一緒で何が違うのか、また犬と犬でも同じところと違うところがあることを学びます。その後、どうしたら犬と仲良くなれるのかを考えながら一緒に遊ぶ時間を過ごします。最後に、なぜ犬と一緒に遊んでくれたのかを発表し、授業は終了します。

本プロジェクトは、2023年度には14校766名、2014年の小学校での活動開始からのべ122校8,168名（2024年3月21日現在）に授業を実施しました。マース ジャパンは、ペットケア事業の使命として掲げる「ペットのためのより良い世界（A BETTER WORLD FOR PETS）」の実現のための一環として、2018年より本プロジェクトに協賛しており、これまでにマース ジャパンの従業員ものべ168名が参加し、授業中の児童のケアなどのサポートを実施しています。「命」の大切さを学ぶことを通じてペットを飼うことの責任を学ぶ機会に加え、犬が好きな人、過去の経験から苦手な人、触れ合う機会がなく接し方が分からない人など、動物に対してさまざまな感情を抱いている人がいることを体感することで、ペットと共生する社会実現のための一助となることを願っています。

授業風景



カリキュラム（一例）

◆ねらい

犬との関わりから、犬にも性格や個性、感情が人と同じようであることを理解し、動物に限らず人とのかわりにも通じる「相手を知り認める」ことで豊かな関わりが生まれることに気づき、他者との関わりに大切な心情を育む

主な学習活動	留意点・ポイント
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分たちの考える、犬との「挨拶」をする。 2. 以下のテーマについて意見を出し合う <ul style="list-style-type: none"> ● 何をもって「挨拶」ができたと思った（判断した）のか ● 挨拶ができた、できなかったその理由や工夫したこと 3. 触れ合いに大事な指針「3つの約束」を伝える <ul style="list-style-type: none"> ● 大きな声を出さない ● 急に触らない ● 急に走らない 4. 体の観察を行い、人との違いや同じところ、そしてその仕組みや理由を知る 5. 各グループができる遊びをする 6. 犬を落ち着かせる 	<p>ヒントは与えずに行う ホワイトボードで共有 ふれあいやかわり方はそれぞれ</p> <p>なぜ大切なのかを考えながら、この後の活動を進めてもらう</p> <p>知ることは興味につながる 物理的距離を縮める 自分がしたいことではなく、犬ができることという犬目線になる 遊びとは違う気づきや創意工夫が含まれる</p>
休憩	
<ol style="list-style-type: none"> 7. 2 で出てきた内容について、体験からの振り返り 8. 心音拡声器で人と犬の心音を聴き比べ、6 倍速に動く時計を見て、犬も人も同じ命であることを実感する 9. 犬も人も同じ命。今日犬と遊んだことで今後に生かせることは何か 10. まとめ 	<p>体験との結び付け 頭での理解から実感へ</p>

こども笑顔のラインプロジェクトについて

一般社団法人マナーニ（所在地：東京都港区、代表理事：内田 友賀）が企画、実施する「こども笑顔のラインプロジェクト」は、全国の小学校で犬を介した学習プログラムで、いじめ問題や自殺、孤独やストレスなど子どもをとりまく問題に対し、心のケアや学びの場として取り組むことに加え、動物虐待や飼育放棄などのペットを取り巻く環境改善を活動の目的として2014年から開始。2016年から2018年には、文部科学省の指定研究として、日本で初となる動物介在学習プログラムの開発と調査を東京学芸大学と共同で実施。現在までにのべ124校、約8,313人の児童を対象に実施。文部科学省、環境省後援。

一般社団法人マナーニのホームページは <https://manani.jp/>

「こども笑顔のラインプロジェクト」活動紹介動画は https://youtu.be/Va_d5l_jESk



マース ジャパン リミテッドについて

マース ジャパン リミテッドは 1975 年に設立し、ペットフード事業とスナック菓子事業（スニッカーズ®や M&M'S®、BE-KIND®（ビーカインド™など））を展開しています。ペットフード事業では、「ペットのためのより良い世界（A BETTER WORLD FOR PETS）」の実現を目指し、カルカン/ウィスカス®、シーザー®、シーバ®、プロマネージ™、アィムス™、ペディグリー®等のトップブランドや、ニュートロ™、グリニーズ™などの主にペット専門店で扱われているブランドを展開しています。ホームページは、

<http://www.marsjapan.co.jp>

親会社のマース インコーポレイテッドは、世界 70 以上の国と地域で事業を展開。世界における年間総売上高は 約 470 億米ドルで、その製品は世界中で販売されています。総従業員数は約 14 万名。ホームページは、<http://www.mars.com>

【本リリースに関する報道関係問い合わせ先】

マース ジャパン PR 事務局（PRAP JAPAN 内）富谷・小泉・岩坂
TEL：03-4580-9106 E-mail：mars@prap.co.jp